京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金六十錢 ▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町十番地

寄書

●電鐵事業公園經營論（五） 岡崎遠光

第二、京城の電鐵及公園

蓋し時代の趨勢は交通機關の發達に依り漸次住民生活上の改良を促して止まず而して市民の心情亦自ら享樂の種類及程度を增加せん事を冀望するを以て假令歐米の大都市の事例の如く經濟上及生存上の壓迫に接せずとするも而も市民は機を見て市外に住居し清爽の地區に於て比較的簡易なる生活を營むに至るべし而して彼等が如何なる方面に放散すべきかと云ふに此の問題も亦正しく電氣鐵道線路に依りて決せらるべき運命を有するものなり。

京城市は益々發展し住民は愈々增加するにも拘らず市民が生活上の享樂及衛生上の慰安を求むるに足るべき遊樂地[illegible]なり尤も南山漢陽の兩公園あり僅に天然の地形を利用し眺望稍々佳或は三春行樂に適すべしと雖も恨むらくは地勢岐嶮婦女子の昇降容易ならず亦其の地面廣大ならず要するに家族團欒の興に適せず又大集團の遊樂に供するを得ず若し夫れパコタ公園に至りては一小花園のみ復た言ふに足らざるなり五百年來の舊首都にして人口二十八萬を包擁する京城が一箇の見るべきの公園だも有せざるは確に一大缺陷にして又一大恥辱にあらずや官民の宜しく考慮すべき事項にあらずや

歐米に於ける都市經營策は最近に至り頗る進歩し來れり公共團体にして自ら市場、共同宿泊所、音樂場、競馬場、劇場、浴場、洗濯場、質店、避病院、孤兒院、棧橋等を經營するものあり而して何れの官公衙に於ても特に力を盡し心を注ぐは公園の經營なりとす是れ公園は社會一般に娛樂を提供し生活上最も必要物たると同時に公園其のものが正しく都市の一大裝飾物たればなり公園は猶女子の花簪の如し女子に花簪の必要を認むるものは又都市に公園の必要を認めざるべからず之を認めざるものは無風流漢のみ又人間には普通名譽心あり虛榮心あり人間の群集して經營する都市にも亦名譽心及虛榮心あるべきの理なり各都市が相競つて公園を壯美にして以て自ら誇とする亦以なきにあらざるなり而して今日京城の現狀に於て官公衙に向つて之が急設を促すは恐らくは是れ人に難を强ふるものならん官公衙として之を建設するに方りては勢ひ姑息の企圖又は微小の計畫をなす能はず隨つて財政の之を容さゞるものあらん乎果して然らば米國及內地の如く電鐵會社に於て之が計畫を立つるは臨機の一策たるなり是れ蓋し市民に對する會社の一義務とも謂ふべし但し玆に顧慮せざるべからざるは京城は一年三分の一厳寒にして而も其の市民は行樂及散策の嗜味と經驗とを缺けるを以て昨今の狀態の下に於ては或は收支相償はざる事是なり

雜報

●舊正月前 鮮人間金融

既に朝鮮人個人取引の大決濟期たる舊正月も旬日の間に迫りたる昨今に於ても京城朝鮮人間の金融狀態は依然緩漫にして諸雜貨類の賣行も相當に好況を呈し朝人側各銀行の諸貸出金の如き昨今に至り却つて減少を示したる由にて其の原因は米價昂騰の爲め却て地方鮮農の金融を潤澤ならしめ購買力の增加を來せると共に地方よりの資金が京城鮮人間に流出せらるゝもの多く自然金融の潤澤を來せるにあらずやと云へり

●淸川江炭ご販路

松井民次郎氏の經營に係る淸川江下流に於ける炭鑛の採炭は三井物產會社に於て販賣を引受け居ることは既報の如し而して同社にては第一回販賣を試み全部仁川製鹽所に賣込みたるが石炭質は未だ老熟し居らざるを以て他の使途には向かず製鹽所用としては適當なるも何分未だ規模の小なることゝて供給に於て充分ならず又淸川江は冬期に於ては結氷し陸上運輸の便にのみ依ることとなるも陸上の運輸は其の運賃高價に失して到底引き合はず何れとか運輸の便を講せられたきものなりとの事なり

文苑

●古城壁下に立ちて（下） 圭木隆

小憎に、
咀ふを止めん、
漢江に氷破り鯉釣れる、
叫び步るく野菜賣、
荷ぞ重き牛や馬、
踏切りの旗振り女、
土下座の乞食、
舊城に王妃の血、
西門の外、流れける、
邪宗の血とや、
非[illegible]、疊ぬる
古壁、
いろ／＼に公使館、
とがり立つも、
空の端、
高き巢、
ポプラにかくる。
雨風の、
生涯に、
朝鮮に住み倦むと、
事なほ多し、
心は早やも、
支那のかなたに、
低佪の我、
町行けば祖國戀し、
草色の被衣乙女、
いくにんも、
すれ違ふ。

●飛び／＼日記（二） 仁川 たび家丹葉投

……△素見▽……

七草や調子外づれて下女の笑

イヤモウに三式の女性は小糠の崩れたのにも笑ふのが特色！只の十七字珍でもなければ猫でもなし、中々たかしからず、フン。

春駒や御苑を荒るゝ隣の子

ハテナ……御苑!!隣の子悴!!荒るゝ!!寡聞の子にはチョット……不可解。

綱長し玄關ぞせまき春の駒

徐ろに曳き出す二頭立ての馬車の樣にもあり『故事要言』を繙とくに曰く年の初に馬を作りて頭に載き歌を唄ひ且つ舞ふ、是を名附て春駒と云ふ都鄙共に有り、之は禁中にて每年正月七日に白馬御覽の事あり、是を下々にうけて眞似侍る也。と讀み去り讀み來るとドゥヤラ勝手が違ふ樣也活き馬の樣で……然かも下五の春の駒と來てはいよ／＼以て和唐なくなる、是れ閑の子には……些と？。

外事一束

▲英國● 潜航艇一隻ワイト島に砲艦と衝突沈沒し乘組全部溺死の虞ありと云ふ
▲罷業● の爲め著しく騷擾を極めたる葡都も昨今漸く靜穩に歸したりと云ふ
▲和蘭● ロ市長同市獨居留民の獨帝誕會に於て獨皇帝は和蘭の親友也と說
▲獨逸● 艦隊昨年の米艦隊獨逸各港訪問に答ひ普魯西親王と共に米國を訪ふ
▲英露● 兩國雙方の勢力範圍の限定前波斯帝に對する報償金支拂問題波斯の
▲借款● 問題等に關して商議中にして共に波斯占領の意なく再協約行はれん
▲庫倫● の蒙古人等相當の報償を得蒙古鑛山を一に露人の探鑛に任んと企つ
▲墨國● 叛亂重大に叛徒ジュアレツを占領の後叛將ゴメツ假大統領となり大
▲統領● マデロを非難し尙他地方と氣脈を通じ南部墨西哥を煽動せんと企つ

梁川庄八

第九十六回　小金井蘆洲演

江『成程、是は何方が何と言つても敵はねヱ、駿河の名物は日本の名物だ』駿『此駿河の富士と言つたら芙蓉峯と云つて、外の國に類と眞似がない春夏秋冬た山の頂きに雪が絶へない、と云ふ靈山、マア是が私の國の名物だ』斯う云ふと向ふから甲州者が顏を出して、甲『モシ／＼駿河のお方私の國の名物だ／＼と、富士の山をさう自分の國にばかり取りたがつちやアいけない、あれは私の國にも掛つて居る、俺は甲州だ、三國一の富士の山と言つて、駿甲遠三州に跨つて居るから三國一と言ふ駿河の國ばかりぢやアねヱ』○『それは貴所は繪圖を見ないから云ふが、繪圖を見れば三國でも一番私の國に根が蔓つて居る』甲『イヤ甲州の富士と言つても宜い位だ』駿『だつてそれはいかねヱ誰だつて駿河の國の富士と一口に云ふぢやアありませんか』江『それはさうですねヱ』甲『田子の浦に船に乘つて通りなさる人に船頭がお客樣向ふに見へるあれは駿河の富士だと云ふので、自分の國の富士だと言傳へて居るんだが自分の國にばかり富士を取りたがつてもさうはいかねヱ』江『オイ／＼甲州のお方、さうお前さんのやうに荒つぽい事を言つてもいけねヱ俺は江戸だけれども、是は駿河のお方の云ふ方が道理だ、三國一と云ふけれどもマア一口に駿河の富士と云ふし、江戸の富士樣の見へる所を駿賀町駿河臺と云ふ根が蔓つて居るか何かそれは知らねへけれども、そんなに甲州の方へ餘計掛つて居るなら、甲州町とか甲州臺とか言はなければならねヱ、マァ駿河の富士と言つても差支へねヱ』甲『アヽさうかい、お前さんが間に這入つて、さう言ひなさるなら駿河にやつて仕舞はう、ナニ富士なぞが名物でねヱから言つて、俺の國には憚りながら名物が幾らもある、第一番に武田信玄樣と云ふ偉い軍人が出た、駿河から誰が出た、駿河から今川治部少輔義元と云ふ者が出たけれども桶狹間田ヶ窪と云ふ所であんな情けねエ死に樣をして、味噌を附けたぢやアねヱか、でんがくぼだから味噌を附けた譯ぢやアなからうが、俺の國の信玄樣と來たら、日本の弓矢の聖と言はれた天上天下唯我獨尊、誰が何と言つたつて信玄樣に敵ふ人が一人だつてありはしねヱ、實に偉へものだどうだ恐入つたらう』と胸を叩き腕を振廻して頻りに威張ると、後ろから顏を出した越後者が越『もし甲州の人憚りながら日本の弓矢の聖で信玄樣より强へものはねへ、負けた事がねへなぞと餘り大駿河事を言つて貰ひたくねへでのんし俺は越後の者だが、俺が國には春日山に上杉謙信樣と云ふ偉へものがある、先刻から默つて聞て居れば信玄樣は偉へ偉へと云ふけれども、頭を圓めて坊さんで居ながら、五逆八逆の大罪を犯したのは信玄樣だ、俺が國の上杉謙信樣は義の爲に戰をなされる方で、武田信玄と前後十八年の間川中島で戰をした、其原因は信州葛尾の城主村上左エ門督義清の領地を、武田が故なく取つたそれ故葛尾の村上左エ門督義清と云ふ人が春日山へ來て、上杉謙信樣に泣て頼んだ、それ故義の爲に戰を起し十八年の間戰を續けて永祿五年秋九月十五日龍頭龍尾二九十八段車掛りの最期の戰をした、其時謙信公が法性月毛と云ふ馬に跨つて、川中島の信玄の本陣へ乘込み坊主首を切ろうと、肥前長船の住人順慶左衛門長光の刀を持て切込んだ時に、小栗大膳と云ふ奴が鐵砲を持て向つた時に、馬の上から謙信樣が之を切落し、愈々信玄の側に進み來つた時に、原大隅守と云ふ者が謙信公の乘つて居た法性月毛と云ふ馬の股を突いた何處の軍に乘つて居る馬を突く奴があるものか、甲州者は卑怯だ順慶左衛門の刀で切下した時に、信玄が軍配團扇で受止めたけれども、拳が下つて𢌞つて居た七狐の前立諏訪法性の兜へ切附けた、其内に法性月毛と云ふ馬が棹立に成つたもんだから、其隙に信玄は逃たじやあないか、馬を煽つて敵前に乘込んだのが偉いか、兜を切られて逃出したのが强いか、どつちが强いか考へて見なせへ、弓矢の聖／＼と大へ事をばかり言つても、謙信樣には敵はなかんべエのんし』ギリ／＼奥齒を噛んで口惜がつて居た甲州者は顏の色を變へて、突然越後者の胸倉を取つて甲『此野郎信玄樣の事を糜茶のやうに吐しやあがつたな』とこづきました

東京電報

▲日銀利子引上
日本銀行に於ては一般利子を一厘引上け七日より實行する旨六日午後發表す

▲政友會と所得稅
政友會にては六日例の所得稅案に關し代議士會を開き協議する所ありたり

▲早川氏と政友會
早川鐵冶氏は六日原松田杉田三氏の紹介にて政友會に入黨したり

▲航路補助說明
豫算第七分科會にて江木拓殖局部長は朝鮮と臺灣航路の補助金に著しき相違あるは交通の難易あるが爲めなりと說明せり

▲小池氏の赴任期
奉天總領事たりし新任英國大使館參事官小池張造氏は來る十四日橫濱發の加茂丸にて赴任の筈なり

▲濟生會と施療院
恩賜財團濟生會にては豫てより小橋局長北里博士の兩氏其衝に當り中央施療院設立計畫調査中の所此程成案略完成不日理事會に報告し決定後四月開會の評議員會に附議する由

北京特電

▲趙總督退位反對
東三省總督趙爾巽は若し皇帝にして退位せらるゝ時は滿洲を擧げて獨立すべしとの電報を北京政府に發せり

▲鐵橋の假修繕
金雞屯鐵橋は凡そ五十間位墜落し其際顚覆したる車輛はタンク車一輛無蓋車二輛有蓋車三輛にして負傷者約五十死者十五六ある見込なるも未だ悉く發見せられず發見せられしは八名に過ぎず損傷個所は直ちに假修繕に着手し目下列車を双方より運轉せしめ辛ふじて徒歩連絡を爲し居れり

▲革軍入京準備
目下南部地方に駐屯しつゝある革命軍兵士一萬人は皇帝の退位發表せられたる場合急遽北京に入京すべき樣準備すべき旨命ぜられたり

▲外交團在留民を警護
北京駐箚各國公使は公使館附衞兵司令をして在留民に就き協議を爲さしめたる上それ〳〵警備をなし萬一に備居り

▲皇族待遇條件打電
袁世凱は皇太后の親筆に成る皇族及び蒙古西藏滿州等の各王族待遇條件を賜はり直に唐紹怡に其旨打電せり

▲唐伍の南京行
唐紹怡は袁世凱の電報に接し伍廷芳と共に五日南京へ向へり皇族待遇條件は既に兩者の意見一致せるものと認めらる

▲直隷總督交迭
直隷總督陳夔龍は病氣の故を以て三ヶ月間暇を賜はり其後任として龍仁甫任命されたり

南京特電

▲黃興吐血引籠
革命黨首領黃興は革命亂後晝夜の別ちなく激務に鞅掌したる爲め痛く健康を害し終に吐血したり孫大總統を首め同志の驚愕一方ならず目下引籠靜養中なり

▲北上陸戰隊出發
北上海軍陸戰隊五百餘名は六日南京を發し上海に赴き數日滯在の後軍艦護衞の下に芝罘に向ふ

雜報

●議會と朝鮮問題
六日午後十一時總督府着電によれば第七分科會にて長主査より各殖民地特別會計の統一は出來難しとするも各施設事項の釣合を採る上に於て將來政府は各殖民地當局者と充分の熟議を爲すの必要あり政府の之に對する所見如何を問ひ宮尾政府委員之に答へ山根正次氏は臺灣及朝鮮に於ける內地人の死亡率を比較して朝鮮に於て尙は各地に醫師を配置されたき希望を述べ荒井政府委員之に答へたる後款項の質問に移り全部之れを終了せり

●官制改正と土地調査事業
朝鮮土地調査事業は臨時事業として其總計費も確定し只之れが年度割に關しては每年豫算の關係上多少增減さるゝに過ぎずして既定の計畫は是非とも遂行せざるべからざる者なるを以て今回の官制改正並に行政整理は何等土地調査事業に及ぼさずとの事なり而して明年度の豫算が二百三十八萬圓を計上され豫定年割額より約六十餘萬圓の減額あるを以て明年度に於て豫定せし人員は或は使用するを得ざるならんも之れ等は經費節減の結果にあらずとの事なり

●明年度の土地調査區域
土地調査事業の明四十五年度內に終了すべき豫定地域は慶南、忠淸南北、京畿道の一部全南の一部等にして殆んど朝鮮に於ける優良なる農業地を含むべしと云ふ

●侍從武官各隊巡視
御差遣の奥村侍從武官には七日午前九時より上田軍司令官柴參謀長十時中村兩副官と共に京城衞戍病院に赴き各患者に優渥なる御沙汰を傳へ御菓子料を下賜されそれより步兵第六十五聯隊並に師團特科隊午後一時半より憲兵隊司令部同三時より朝鮮步騎兵隊に臨み各將校以下に對し酒肴料御下賜の御沙汰を傳へたり

●司法官の秘密會
司法部長官室に於ける院長檢事長會議は七日も前日に引續き午前十時より開會し山邊書記官の外出入を嚴禁し司法機關縮少に伴ふ人事の異動に關し秘密會を爲し午後三時散會したり

●雲山金鑛の利益
米國人の經營に係る雲山金鑛の昨年六月末に於ける計算は近頃農商工部に到着したる一昨年七月より昨年六月まで一ヶ年間の總益金は三百八萬二千六百九十二圓にして同年度の事業費百七十七萬九千七百十六圓なれば殘額百四十萬二千九百七十六圓なり而して此內より積立金五萬七千五百三十六圓を控除したる純益百卅四萬五千四百四十圓を配當したるが故に之を株金八百五十萬圓にて除すれば其配當率一割五分餘なりと云ふ

●實業家功勞者調査の內意
總督府が昨今京城府廳に命じ同府廳より更に京城日本人商業會議所に依囑せる京城府內日鮮人實業家中の功勞者の調査は別項記載の如く會議所に在ては一應當局の具體的意見を聽き其の上にて調査することゝなり居れるが右は日鮮併合の紀念として其の功勞を表彰せんが爲めなるべしと傳へ聞く

●會議所の役員會
京城日本人商業會議所役員會は六日午後一時より同所樓上に於て開會既報『日鮮人間商取引改善の件』『官營事業に對する民業調査の件』『南大門驛を通過驛となすの件』及び『其の筋よりの依囑に係る京城府內に於ける日鮮人實業家中の功勞者調査の件』等に就き審議し皆局原案通り可決し不日開かるべき總會に附議し其の上にて當局に對し建議及請願を爲す由なるが唯功勞者調査の件は當局の具體的意見を質す必要あるを以て其の上にて調査すべしとの事なり

●慰問使と軍司令官
既記の如く上田軍司令官には七日午後六時より官邸に奥村侍從武官を主賓に松永第二師團長、明石司令官、山縣少將、軍團各部長並に市川師團參謀長大口步兵第六十五聯隊長、山形憲兵大佐、藥師川同中佐、岩井師團高級副官、及河野武官各軍司令部副官を招待し晚餐饗應ある筈

●京城府一月中證明數
一月中に於ける京城府廳土地證明課の土地證明取扱件數は前月末繰越千三百九十二件同月中新受九百三十一件にして內既濟件數九百二十九件なれば未濟件數は千三百九十四件に上れど其の內所有權證明事件として法定揭示を要するもの千百三十四件あり即ち純粹の未濟件數は僅に二百六十件にして事務一般に進捗を示し居れり

●商業會議所の總會
京城日本人商業會議所にては來る十、十一兩日の中總會を開くべしとのことなり

●商議と店員獎勵
京城日本人商業會議所にては豫てより京城店員講話會を作り店員は一ヶ月一回會議所に集會し當日は敎育家を招きて有益なる講演をなさしめ以て店員の風紀を善良ならしめ同時に趣味の向上を圖らんの計畫あり依つて六日午後五時過日表彰されたる京城各商店に於ける七年以上十年間勤續せし模範店員を同所樓上に招き之れが計畫を述べしに店員等は何れも贊成したるを以て次回の總會に提出する由なるが右は單に店員の風紀を善良ならしめ趣味の向上を圖るのみならず一方には賞罰の實を明かにせんが爲め會議所に店員臺帳なるものを備へ付け若し其の店員にして不正の行爲あり且つ解雇されたる場合は會議所にては之れが店員の名を各商店に通知して將來雇用せざることゝなし又は其の店員にして他の模範となるべき行爲あるときは之れを表彰して他の店員の龜鑑となし以て一面に於ては商店の繁榮を期すべしとのことなり

●大坂商人と移入品
從來大坂の商品にして朝鮮に移入せるものは所謂朝鮮向きとして粗製濫造の弊あり依つて近年にいたりては母國人は勿論鮮人と雖も漸く此の弊を嫌忌し從つて大坂品の賣行捗々しからず一に東京品走り何品に限らず東京流の精良堅牢のものを好むにいたりし傾向あることは記者の逸早く報道せる所の如し夫れかあらぬか近時大阪の商人は大に狼狽し大に從來の弊を改むべく腐心し如何にして東京品を壓倒せんかに思を凝らしつゝあるが中に狡猾なる商人は其の製品を外見丈東京流に僞造して移出するものあるが此等は姑息の策たるを以て到底永續すべきに非ず結局は製品を吟味するの勝れるに如かずとなし昨今にては大に粗製濫造の弊を矯めたる由なるが斯く一般の母國民及鮮人が高價ながらも東京流の製品を歡迎するにいたりしは勿論大坂品の粗製濫造にも依るべけれど一は統監府設置以來關東人の移住者多きと他は鮮人の生活の向上より來りしものならんといふ

●東拓重役の心配
東洋拓殖會社の成績が昨今議會の問題となり折柄昨夜も復之が物議の飛電ありしと聞くに付けても六日の定例重役會議は重要視せらるべきものなるが聞く處によれば本年度の成績が拓殖の本旨に反くと否とは兎も角も多少儲け過ぎたる結果として補給金の成り行きを憂慮すると共に之が計算始末に苦慮せるものゝ如しと揣摩せるものあり

●一月中の移出牛
釜山牛疫檢査所にて本年中に開放したる生牛の內地に移出されたる總計は三百三十四頭にして此內山口縣へ二百七十九頭大分縣へ五十五頭の移出なりと云ふ

●仁川引込線開始期
仁川稅關構內鐵道荷物積卸引込線に就ては今般同線運賃の協定を了へしかば愈々來る十一日頃貨車運轉開始せらるべしと云ふ因に運賃率は一噸扱貨物一噸に付金五錢一斤扱貨物百斤に付金一錢なりと云ふ尚該荷物積卸場の雨覆は稅關にて設備する筈なりと

●市原總裁の東上
七日夜三島理事歸京に付市原總裁は其の報告を聞きたる上九日夜行列車にて島雄秘書を從へ東上すべし尚木村理事も同時同行東上すべし

●中野警務官の出張
來る十二日より全羅南道光州に於て衞生講習會を開催するに付中野警務官は之に臨場の爲め九日同地へ向け出發歸途開港場の防疫狀況を視察すべしと云ふ

●佐々木唯市氏の出發
東亞煙草會社京城販賣部長たりし佐々木唯市氏は今回東京の本社詰となり七日出發せり

●竹本高級副官歸任期
南鮮各地の守備隊及び派遣隊巡視の爲め出張中なりし軍竹本高級副官は來る十五日歸任すべしと

●黑沼主計正の歸任
過般陸軍省に開會の主計正會議に列席の爲め東上したる黑沼軍主計正は此の程歸任したり

●宮尾軍醫正の出發
砲工學校付に轉補せられたる宮尾軍醫正は豫報の如く七日午前九時三十分南大門驛發列車にて東上せしが見送者多數なりき

●故青木檢事正昇叙
故青木檢事正は二月三日附を以て高等官二等に昇叙せられたり

●仁川築港用船舶購入
稅關工事課仁川出張所にては從來築港用に使用せし小蒸氣船燕丸が今回定期檢査の爲め修繕中なるを以て一時秋田商會所有船辰丸を借入れ使用する事に決せりと尚築港工事の進捗に伴ひ更に土運船二隻水船一隻新造の必用により六日請負入札の結果兩船とも群山濱町濱田勘助に金八千五百圓にて落札せりと

●併合紀念章授與調査
昨年來總督府に於て秘密に調査中なる朝鮮併合當時在鮮內地人及鮮人に對し交附すべき朝鮮併合紀念章授與人名は今尙ほ調査中なりと

●最近の大田狀況
例年なれば九月頃より廻來ある筈なれど一般民間經濟に餘裕あると地主に於て賣却を抑制し居る傾嚮あるため殆んど出廻りなし尤も平澤天安界隈は幾分の出廻はりある模樣なれど當地附近は一般沈靜なるため資金の需要起らず唯移入品の增加と共に從つて是等の商品に要する資金が漸く增加し來りたるが如し之に反し預金は昨年の當節七萬圓內外なりしものが昨今は十五萬より二十萬を上下せり是れ一は當地が漸次發展し來りたる爲めならん而して米穀の相場は改良籾六圓內外玄米十三圓五十錢中白十五圓二三十錢大豆七圓四五十錢を唱へ居れり猶ほ當地としては湖南線の關係より將來に多大の希望を抱き居れる內地資本家の多くが土地に向つて投資したる結果土地の騰貴は驚くべき趨勢を示し一昨年迄は一斗落十五圓より二十五圓位にて手に入りし當市附近の土地が昨今は一斗落二百圓の高値を唱ふるに至れり斯の如く地價が暴騰したる爲め動もすれば商業資本が此土地に向つて投ぜられ勢ひ固定するの虞れあるより銀行當事者に於ても充分の注意を爲し來りたる爲め未だ回收難に陷りたるものなし而して割引日步は農銀に於て三錢五厘以下を唱へ居れり

●半島鑛業振興上の意見(其二)

▲田村農商工部技師談

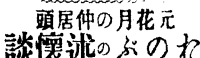
朝鮮鑛業の開發策を企劃するとして其の朝鮮に於ける鑛床鑛脈の狀態は如何と云ふことを最近に觀察した地方に就いて其の大略を述べて開發計畫の參考に資することゝすれば予が觀察した地方は海州を出立點として鳳山、黃州、中和、平壤、順安、肅川、安州等の諸地方であつて即ち平安南道黃海道を南北に縱貫して兩道に於ける西海岸地方一帶の鑛脈を觀察した譯であつて其の鑛脈の種類は大部分鐵鑛であるが金鑛としては安州、肅川、順安、永柔諸郡に於けるものに大なるものあり就中安州郡東部順川境の方面に最も鑛脈の大なるものを發見した石炭脈としては最も大なるものに彼の有名なる平壤無煙炭脈があつて其の鑛床は平壤を中心として東西十里に涉り鑛床も深いが之れは平壤鑛業所に依つて採炭に從事せられて居る此他石炭鑛の大なるものとしては安州郡西面新里昨年の春頃に發見せられた石炭鑛であつて發見と同時に採掘に從事して居るが其の炭質は褐炭であるから餘り善良のものではないが其の鑛脈は極めて豐富であつて該新里炭鑛を中心として附近所在に多くの炭鑛が存在するが其の鑛脈の貧弱等は目下採鑛中に屬して確言は出來得ない以上の金鑛炭脈を除けば他は悉く鐵鑛で其の鑛脈も極めて廣く且つ豐富であるが殊に黃海道の黃州、載寧、安岳、殷栗、海州平安南道の江西郡地方が主要產地で採掘有望であるが其の他信川、長淵、平壤、甕津地方にも赤鐵の鑛床を發見するが其の鑛脈の大小は調査中であつて未だ明瞭ではない而して此等兩道に涉り斯の如き豐富有望なる鐵鑛に對して目下採掘に從事しつゝあるは僅に安岳、殷栗の二ヶ所で其の產鐵は之れを毎年枝光製鐵所へ輸送して居るが右の外最近兼二浦附近に於ても有望鑛脈として採鑛を開始したるものあり又た海州地方にも比較的大なる鐵鑛があるあつて明白に地面より之れを觀取するを得价川地方に於ても亦有望なる鐵鑛脈の存在するあれど何れも未だ何人に依つても採鑛にさへ從事されて居らぬ即ち右兩道に於て今日迄採鑛に從事された鐵鑛は僅に其の一小部分で且つ其の稼行年月も未だ三四年を經過せず他は全然未着手に屬するものであるが鐵鑛採掘の如きは日本本國の缺乏を補ふを得其の採鑛も石金等と異り單に地面を掘り上るに止り其の經營は比較的簡單で只掘上費と礦石運搬レール布設費を要するのみであるから金等に比し利益少き代りには多大の經費を要するの必要もなく且つ該地方の鐵鑛は最下等にて尙ほ百分の四十の含鐵量あり其の最良なる鑛石に至りては其の含鐵量實に百分の六十四に至るものさへあり採鐵事業は極めて有望なるべきを思ふ

●紀元節と軍司令部
龍山軍司令部にては來る二月十一日の紀元節には將校同相當官以上の祝賀を受け判任官以下は各代表者の祝賀を受ける由

●開城の畜牛組合
朝鮮農會開城支會にては昨年十二月末畜牛組合を設けたるが組合員の應募四十余名に達したるも先づ其確實なるもの二十名を撰み毎月五十錢宛を出金し二十ヶ月を期限として其醵金中なり

公人私人
▲堀力太郎(商業)六日投宿巴城
▲ヴイカーテス(鑛業)同山本
▲帆足準三(咸北內務部長)同出發釜山
▲小室龍之助(大邱東拓出張所長)大邱
▲宮尾實吾(陸軍三等軍醫正)七日赴任

▲茶袋▼
▲衆議院議員中に東拓會社の重役賞與金と繰越金とを減ずれば同社は優に八朱以上の配當が出來るから、年々國庫から大枚の補助金を出してやるには及ばないとの議論を唱へてゐる者が多いので、東拓重役連は頃日頭痛鉢卷といふ有樣だそうな▲元來東拓會社の社員待遇は俸給率に於て重役と其以下の者との懸隔が馬鹿に甚だしいのみならず、社宅まで重役と他の社員とは格段の違ひがある、ソコで社員は皆不平だら〳〵眞に社の爲に働いてをるものは雨夜の星同樣至つて少ない▲今日のやうでは、國庫から補給されてをる金も、ツマリは重役の腹を温めるばかりで何の役にも立たぬとは同社の內情に通じた者の語る所である、議會で補助金全廢問題の起るも決して無理はない



元花の月の仲居頭　おぶの述懐談

（其の八）

重ねた盞の數に氣も心も浮き立つた渠女の調子は華やかに言葉使ひも慎しみが脱けてトモすると地金が出る、話に油が加つて來たのだ『其時代に一番お爲めに成たお客樣は總務長官の**鶴原**さんを筆頭に**頭本**さん、**鍋島**さん、**木内**さん、**岡**さんなぞでムいましたが其内での鴨なら青首と云ふ所は鍋島さんと頭本さん、鶴原さんは其次位でしたね、御承知の通り木内さんと來てはアノ通りの野暮天ちやんでお茶屋遊びの方はトントお坊ちやんでムいますのみか**十時頃**になりますとね貴許、**木内さん所**へは**仕込杖を持て提灯を提げた書生**さんが『**先生のお迎ひ**—』と云つた格でお迎ひに入來るのですから何うして落着いた御愉快が出來るものでしよう、何時もソワソワとお忙がしい事でした、エ、必ずでしたね岡さんですか、アノ方は**田舍廻りのお役人だけに惡る摺れに摺れて**ナカ／＼の人惡るで迂濶々々すれば此方が鼻毛を數まれます、夫れで居て御勘定と云つたら一番少ないのですよ、其の内で誰が一番好きだつたかと仰云るのですか、誰も彼もあつたものぢやありませんよ、私の身にして試れば何でもお拂の多いお心付けを澤山下さる方が一番好きですね、エ、薄情だつて仰云るの、或は左樣かも知れませんけど積つても御覽なさい夫れが私共の稼業ですものね、ダカラ何時でも私共の考へてる事は應うしたら心付を澤山限獲する事が出來るかと云ふ事です、だからこそ餘計な苦勞をして斯うもしア、もして御機嫌を伺うのでムいます、何んの貴許一哩二錢の同じ三等客ならば日本人も朝鮮人も一列一體に取扱つて居ますよ、御前とか殿樣とか申上げるも夫れが有るからです、肩書を聞き發明らしいが**浮世の事には恰で赤兒**さんなのが多いのです、少々私も人が惡かつたかも存じませんがね、鶴原さんと頭本さん——大抵お兩方は御一緒でしたよ——なぞがお入來に成て皆樣の……エ、**統監府のお仲間が如何な話を仕たかを聞きたがつて**ですが『初めの間はイ、エ其樣なお噂は承りません』と申上げて居ましたが考へて見ると夫れ何程かになる事さ一つ二つ**好加減の事を申上げ**たのですよスルト**即座に五圓か十圓**かになるのでしよう終には夫れが面白くなつて彼方へ向いては此方のお話、此方へ對つては彼方のお噂、一座の方々との**お話の模樣を一々報告**する鶴原さんなぞは後には一度四十圓宛も下さる樣になつたが左樣／＼材料はムいませんや材料が無ければお心付を頂戴する事も出來ませんので其處で偶には貴許、**私の量見からお氣に入る如な有り相な事を作つ**てお話し申した事もあります、而して私の云ふ事を聞いては盛んに又先方の事を何かとお噂になつては怒つて被在る、サア其所で又材料が出來た事になる、夫れが二十圓なり三十圓になるのです、エ、能く露現しなかつたものだつて、露現する理由が無いぢやムいませんか私より外知らないのですもの、へエ、其樣貴許、膝と膝とを突き合はして男らしい談判を被成方達なら初めから私共に『俺達の事を何と云つて居る』なんて其樣事をお聞きなさいますものですかよ』渠女の意氣は昂つた。

●不心得な店員

▽横領しては費消　大阪府南河内郡新堂村字中野十三番地貞次郎二男當時本町六丁目小田林造方店員菱田安次郎（三五）が横領罪を犯して蹤跡を晦ましたる由を永樂町派出所の益田巡査が聞知し内偵中六日午後一時頃本町六丁目を徘徊し居たるを捕ねて取調べたる處左の如く罪狀を自白に及びたり去月二十六日午前十時永樂町三丁目野波久藏方より借料一日一圓の約束にて自轉車一台を借り受け同月二十二日大和町二丁目青木質店に七圓五十錢にて入質し置きたる自轉車と入れ換ね二十九日午後二時頃前記野波方に至り主人小田林造の使ひと稱して自轉車一台を雇人渡邊次郎（十四）に持たせて同行し小田方の店頭に立て掛けさせて渡邊を歸らせ直ちに是れを花園町杉本質店に十一圓にて入質し一月四日本町六丁目森元商店より主人の名儀にて蒲團一着を借り受け翌五日是れを本町七丁目近藤質店に入質して四圓を借り受け費消したる次第なりと

●元淸水席 やん茶の失踪

▽支拂が面倒臭くてか　今は昔未だ代が替らなかつた貴田りう時代の掬翠にあつて大に辣腕を振つて居たやん茶何やら面白からぬ破目に陷り樓主や朋輩やの手前は故郷へ歸りますと申樹へたを眞に受けた連中に涙まで滾させた揚句に態々停車場へ迄見送らせ水涕を啜り合つて隨分身體を大切にね、有難うよお前さんも道中は氣を着けてね辨當もね折だけは食べない如によ、有難うよお前さんもねお客樣のお膳の上げ下しにお肴を摘まない如によ、有難うよ、だけどねアレ計りは私止められないの因果だね、なんぞの別れの愁嘆場も出して將に判然と京釜線の急行列車で釜山から連絡船に乘つてモウ馬關に上陸して居る筈のやん茶が其翌る日の夕方天から降つたか地から湧いたか掬翠を去ること遠からぬ南山町一丁目に姿を現はしたのでお人好しの連中が應うした事さ仔細を聞けば不思議もないこと據ない事情あつてア、して掬翠を出たので實は淸水席から出る筈なのと當人が平氣な程業を煮した然らばとて是非共一度は歸らせると運動する程の熱心家も無くやん茶は最初の計畫通り藝名迄も無遠慮に其儘のやん茶で以前からのお馴染筋へ渡りを付けて發展して居る間にフト巴城館の民さんの胤と云ふ奴を宿した、ア、失策たと後悔しても追付かず段々膨れ上る腹を眺め上を向いた臍の格恰に感心をして溜息と云ふ奴と吐息と云ふ奴をチャンポンに吹き分けて居る間にも月日に關守なくハヤ七月の太鼓腹、イ、エ少々頂き過ぎましてでは通用せぬ事になつたので民さんも其儘にして置き兼ね落籍して南山町二丁目に圍つたのが昨年の秋だつたが腹の兒も產れて見た所で將來應うと云ふ見込がない是はイッツ今の間に引き退つたが上分別と思つたものと見へ流產て了つたのでやん茶喜びの間にも悲しみの色を現はし野邊の送りと云ふ奴を手輕に濟ませた後は月五十圓宛の仕送りを受けて小說を友として閑日月を送つてた所は王極上出來だつたが好事魔多し越中褌は向ふから外れるとかや考へても御覽遊ばせ小說を友としての閑日月も月手當金の五十圓なるものが間違ひなく參つてこそなれです、左樣でしよう、然るに此二三ヶ月民さんの手許不如意なのか又はやん茶に秋風立てゝか兎に角お手當が遠のき出したが然らばとて食はずにも着ずにも居られず食ひもし着もし仕た結果は恥かし乍ら吳服屋から雜貨屋、小間物屋に御拜借が出來て首が回らないのを面倒臭いとでも思つたんでしよう去る五日の朝とやら古鳥籠や小說を置き去つて近所へも挨拶なく何所とも無く消ね失せたが聞く所に依るとキャツ斯うして度胸を拔いて置いて何家からか三度の勤め前借金を懷中に扨と切り出す了見ならんと

●兒守の母を毆る

▽事實とすれば不埒　南部上墨洞老人亭下居庚喜得（十三）は大和町一丁目三百九番戶塗物師熊田さん方の兒守に雇はれ給料二圓五十錢を貰ふ約束なりしが一月末日五十錢を貰ひたるのみにて殘金二圓は言を左右に托して支拂はず庚の母が催促に赴きたるところ不法にも毆り付けたりとて南部署に熊田さんを相手取り告訴したり

●公園修築と素人劇

▽仁川有志の計畫　仁川知名の有志發企にて日本公園の修築を完全にし其の面目を一新せんとの希望にて慈善演藝會素人劇を開催し收入の全部を揚げて改修の費に當てんとて來る十日午後一時半民團樓上に於て發企人會を催す由

●春に腹は替られず

福岡縣人當時明治町三丁目七十番戶國吉次郎一方同居赤木友近（三三）は元本町九丁目宗貞常吉方に雇はれ居たる者なるが一月八日不都合の廉ありて解雇されブラ／＼して居る中フト惡心を起し一日午後四時頃竹園町一丁目米商谷口みね方に赴き宗貞の使ひと稱して主人が買物に出でたるも少々金が不足なる故一圓五十錢だけ貸して呉れとのことにみねは云ふが儘に貸與へ其後夫の龜太郎が二度宗貞方に行きしも赤木の姿が見ゑざるより不審を起し前記の次第を物語りしかば始めて詐取されたること判明其の筋に訴へ出でたれば警官出張取調べたるに只知らぬ一點張なるが宗貞の申立に依れば赤木を雇ひ入れ中銀鉋等が屢々紛失したることありどのことに兎に角本署に引致して取調べ中

●死產兒を遺棄す

六日午後一時舊龍山元町三丁目より若松町に通ずる曲り角森山車製造店横手の塵芥箱に綿に包まれたる嬰兒蜜柑箱に入れ遺棄したるものあり龍山署より松永警部佐藤警察醫と共に直ちに現場へ出張臨檢したる上解剖に付したるに全く死產兒なる事判明死體は民團へ引渡し目下犯人引續き嚴探中なり

●三等待合所に病犬

[illegible]居留荒井德一長男南大門小學校生徒龍男（九）が五日午後二時頃南大門停車場三等待合所にて犬に咬まれたる旨訴へ出でたれば警官出張取調べたる處待合所の仲買杉山岩太の飼犬なること判明し永山獸醫の檢診を求めたるに犬溫熱に罹れるヤツにて被害者には大した異狀も無きより杉山を嚴戒して事濟み

●逃る途中を御用

中部貞善坊泥洞二十三統三戶無職尹明玉（二五）と云ふ前科者は昨年六月以來諸所を徘徊して竊盜を働き居たるが去る二日午後四時頃中部上漢洞五十九統七戶趙鼎九方に忍び入り一仕事せんとしたるを家人に認められ逃走する途中北部署の手に捕はれ取調べの上七日檢事局送り

●仁川賭場の手入

仁川松坂町二丁目住熊本縣生園田松藏（四八）新町一丁目住熊本縣生濱崎嘉一（五六）松坂町木村組龍丸乘組員廣島縣生岡野作松（三七）同町住德島縣生林いし（三九）の四名は七日午前一時頃園田方にて賭場中花房町派出所二宮、森澤の兩巡査に取押られ本署に引致取調中

●笞刑三三ヶ九十

五日午後五時頃東部紺井洞土幕にて賭博開張中取押へられたる東部崇信面亭子洞居行商人鄭寅頑（三二）同崇信面新村仲介業金壽洞（二九）同仁昌面紺井洞車夫嚴性七（三二）の三名は六日東大門分署で笞刑三十宛に

●無鑑太夫にお灸

未だ其筋の許可を受け居らざる泉尾きく（三二）に客を取らせたる大和新地資發樓の山田あさ（三五）の兩名は六日南部署に於てあさは拘留十日きくは同五日に處せらる

●仁川のボンヤリ

仁川山手町二丁目奧田精米所高橋長市は六日午後四時頃本町二丁目より同所へ歸途中鰐皮財布へ二十圓九十錢入りをツイソノ

●演藝だより

▲壽座　新派改成義團一行八日の狂言は『親と親』を演ずる由なり
▲歌舞伎座　浪花節芝居市川小圓次一座今晚の藝題は『辨慶新五郎』の續きに切は『堀部安兵衛高田の馬場』なり
▲龍山佐久良座　新派革新派中村榮一座八日の藝題は『蝶花』『響』に舊劇『壺坂』を加ふるとのこと
▲浪花館　相變らず三遊亭若圓一行にて開演し居れり

●壽座での雜感と雜評（上）

むらさき生

二日目は見なかつたが總じて大層も無い上出來だつた相だ、見落して惜しい事を致した哩、三日目は鎗が……降つちやア危險いがエ、ト、斯うでムる、生命に別條ない限りに於て乾度參らうとの勢ひ凄まじく參つたのが八時も過ぎて彼是八時に近かつた、相變らず森勝商店の緞帳が下りて居る、間もなくスルツ／＼と猿の木登りと云ふ格で幕が上る、正面家形の襖に田と云ふ字を斜にした如う四角な紙がペタリ／＼と貼つてある、何だと思召す、此れぞ近江源氏佐々木家の紋所四ッ目の形、成程智惠も出せば出るもの、之を難解中すと、窮すれば通ずとでも申さうか、

●文の助の微妙、繁子の小四郎が逃げ回るを追ひ詰め振冠つた太刀の形も立派ト、太刀を投げ棄てゝ小四郎を抱き寄せた刹那の動作は彼れ以上あるべからず、政彌、萬龍は役が損、かす、鶴羽の御注進は餘りに多くを望んで居たのでスコシツ、繁子の小四郎は盛に首を振り、仇吉の時政老人振らんとして盛に響を振る、峯松の注進役、

●鍋道樂の盛綱は舞臺狹くして長袴を持て餘して居た、此の優として出來は普通、輔助の和田兵衛氣の毒ながら成つちよらん、幕になつてから今更らしく場內を見回す、婦人が多い、是に由て此を惟みるに

婦人より男に多いと見へる嫉妬

は如何となれば男芝居に此れ丈けの婦人が來た事がない、來んのぢやない來させぬのだ、が是は女芝居だから危險がないと云ふので束縛から開放した結果だ、併し又一面から云ふ女性の浮氣ッポサを證據立てゝるものとも見ることが出來る、油斷ならないもの豈に小娘のみならむや大袋さんとて油斷はならないのだ、モ一つ其證據がある、見る程の女が悉く大口開いて何物かをパクッて居る、此れぞ即ち色氣を捨てたからで男役者であつて御覽うじろや、ウフフフだ、之れは東京の方に伺つた事ですが彼地には**女芝居**と云ふものがある相です、當地にも追々は一つ出來て欲しい、而して當地でのみ興行しても入があるまいから釜山、平壤仁川等を代る／＼興行歩行いたなら相當の事には成な、**女性の慰藉**に必要だらう、なぞと長い幕合を利用して分相應の愚案を胸の裡に繰り返す幕間が約一時間餘もある、舞臺を覗くと後見、顧問、藝妓衆右往左往に立騷いでる、半ば出來上つた道具建ての間を子供連がワイ／＼騷ぎ回つて居た、此は敢て當夜にのみ限らんので見苦しいもの、隨一だ、フト我に返ると臀が盛んに冷ね付く見ると蒲團が無いのだ大入の爲めにお茶子共面喰つて居るのであらう、以て如何に大入であつたかが知れよう（つゞく）

父久兵衛儀豫て病氣之處養生不相叶本日午前八時福岡病院に於て死去仕候間不取敢此段辱知諸君に御報申上候早々頓首
追て來る九日午後三時南山東本願寺別院に於て追弔法會執行仕候（葬式は同日郷里福岡に於て擧行仕候）
二月六日
嗣子　森賢二郎
　　　森安吉
親戚　古賀八造
總代　淺海新太郎
　　　淺海助太郎
　　　森勝次
友人　陶山武二郎
總代　前田熊市
　　　進辰馬

●請[illegible]信[illegible] 現物賣買 [illegible]確實に御取扱可申候

[illegible] 諸官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村徳七代理店

田中友吉商店 電略（ク） 電話九九二

りん病患者に警告す

サンタールが痲病に特効ある事は今や滿天下の認識する處となれり而かも本劑は初より尨大誇張の廣告を爲さず獨り其卓拔なる藥効に倚賴して一般の信用を博するに至れるは弊店の誇とする處なり

痲病の如き疾患は其藥効の見易きこと恰も外科醫手術の巧拙と均しく患者自身に於て直に輕快を自覺するど否とに由り容易に判斷することを得るを以て何人と雖も之を欺くに由なし而して市上痲病の特効藥と稱するもの枚擧に遑あらずと雖も獨りサンタールが其名聲を擅にする所以は其優越なる藥効が幾多痲病藥中一頭地を拔くものあるが爲めに外ならず

●本品獨特の長所

本品は内服して一種の化學的變化を起し强度の防腐殺菌液となり尿と共に排泄せられ自然の洗滌法となるを以て痲病菌を其根底より驅逐するにはサンタールの外又良藥なし

りん病

複六学病院方劑 サンタール 方SANTAHL

藥價 急性痲疾用特製分三圓五十錢、惡性用三週分一圓八十錢、輕症用二週分一圓二十五錢、一週分六十五錢、小包密送

京都市二條通木屋町 振替大阪三三四番 本家藥學得業士 瀦田北辰堂藥局

京城南大門通三丁目

代理店 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番

神經をしづめ腦病を全治す

島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

腦病全治新藥

商標 健腦丸

記憶力惡き人頭痛する人神經衰弱にて氣分鬱ぐ人常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也

（定價）一日中十錢、三日分廿錢、七日分四十五錢、二週分八十五錢、五週分金三圓

本舖大阪心齋橋二丁目丹平商會藥房 分店大阪平野町堺筋北丹平商會分店 支店東京日本橋區通油町丹平商會支店

▲賣捌は全國有名藥店に取次す

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座 京城一〇六八番

◎一月十二日左記の處に移轉仕候

▲貸金 俸給者には無擔保にて精々便宜に融通申上候

京城旭町一府廳裏一丁目より二丁目に拔る小路 電話一四三六番 高橋

商標 志ん熱おこりマラリヤ熱風邪つの良劑

キナエン丸

二包入 五戔 五包入 十戔 十包入 廿戔 十五包入 卅戔 廿包入 五十戔

△キナエン丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ

本舖 大阪四ツ橋 本林丁子堂

代理店 京城南大門通三丁目電話九〇四番 振替口座朝鮮十六番 新井藥房

京城南山町二丁目 小倉齒修所（伊藤瓶所氏入る）

元祖 食パン

菓子パンアンパン各種

總督府各官衙御用 陸軍御用

製造商 京城太平町二丁目 相川兄弟商會（電話一一八九番）

小賣御 釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店（電話二七六番）

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

朝鮮銀行

電話 壹參壹番 參參壹番 壹貳六〇番 壹貳六壹番 六壹貳番

支店出張所（大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣）右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

大募集

二十世紀新美術的職業にして都市避地を問はず男女老幼共容易に薄資自宅に於て從事し得らる日收一圓内外本品は輸出内地共販路擴大故に年中無休製品は永年買入約す●明細書見本は甲種廿五錢乙種八錢郵券送れ

大阪北區梅田驛前（金龍館向）振替口座大阪一四三九六番 高橋商店 直輸部

洋藥賣藥問屋 京城本町一丁目（郵便局前） 山岸天佑堂藥房 電話三七二番 振替二〇三番

醫科理化學機械 京城本町一丁目（府廳前） 同機械部 電話一〇六番

資本金 壹千萬圓 積立金 六百參拾五萬圓 明治六年設立

株式會社 第一銀行京城支店

京城南山町三丁目 電話一一番 六二一番 振替貯金口座京城二一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

效能ある溫泉 鐵冷溫泉

旅館並に浴客席貸 京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行北横手） 廣安喜次郎 電話一四一番

優等清酒

商標 ひら 登錄 香氣郁 吉金

釀造販賣元 仁川港 吉金酒店（電話七六四番）

日本音譜 朝鮮音譜 各種品揃

音譜目錄無代進呈

地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御發附可仕候

大聲發音器

日本蓄音器商會 朝鮮總代理店

歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商 京城本町 辻屋 電話二四八番 振替口座八七番

英國セフヒールド市シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品

鑛山用 地球鷲印八角鋼 道具用 同角磨鋼 職工用 同鑢各種

右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

和洋金物商 京城本町五丁目 釘本藤次郎本店（電話四五番）電信略號『ク』振替貯金口座京城二五六番

弊館には夜警の設備有り御客樣の安全此の上なし

眺望の好き事 陸軍指定旅館 鐵道院指定旅館 仁川水產組合指定旅館 第一各保險會社指定旅館なり

仁川海岸 旭屋旅館 電話二五一

政宗 正則 清正 釀造元

酒 小賣壹升に付三十五錢

清酒 味淋 燒酎 並に日用食料品雜貨類 御得意は特別割引可仕候

京城黃金町三丁目 釀造元 中井酒造場販賣部

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候 電話百七十七番

世界無比 淳良清酒

商標 登錄 萬民賞翫之 金露

○堺大塚の金露醋酒は今回改良に付て釀造酒のみを用ゆる事にせられたり

○大塚釀造場の金露酒は衛生に經濟に嗜好に適合に於ける一大良得品

○京城に於ける金露特約販賣店の元祖は佐藤牧商店なり

○大多數を占めたるは佐藤牧商店なり

○地方御得意樣には中味改良の結果賣捌高大割引廉價を以て御注文に應じ可申候

特約大販賣 京城本町二丁目 佐藤牧商店 電話二九番 振替京城二九番

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 數具校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具

新案韓語栞發賣所 國語指南

朝鮮京城本町三丁目 平田商店 教育品部 用達部

電話一一五番 電信略號（ヒ又はヒラタ） 振替口座京城四六八番

東宮殿下御料牛乳 京城博覽會一等賞金牌

洋種乳牛及朝鮮牛賣買 牛皮牛骨の賣買 入院隨意 京城家畜病院 種豚山羊家禽種卵賣買 多木肥料販賣代理店

京城古市町九番戶 朝鮮畜產株式會社 電話八八番

新荷着

厚物薄物 浪板平板 鐵板各種 各種 垣用線

和洋金物商 京城本町二丁目 佐野彥藏商店 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

朝鮮代理店

喜谷 實母散

東京中橋 本家 喜谷市郞右衞門

京城南大門通三丁目 新井藥房

酒精アルコール 直輸入元 仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）振替口座京城五八二 坂倉支店

株式會社 十八銀行支店

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候

京城黃金町（銅峴）電話四二〇番五八〇番

○○本店 長崎市 ○○日本 朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候

○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候

◉貯蓄預金

○元金百圓に付日步一錢二厘 ○一口一錢以上何程にても御預り申候

貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

磨擦白米

京城本町一丁目 龍山積米所 [illegible]

株式會社 百三十銀行 京城支店

電話百九十四番 五十八番 振替貯金朝鮮一一一三番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影

東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、龜山

東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙臺、北方、加納

北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟

山陰道 米子、境、松江、入手、太田、倉吉、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取

山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山、阿知須

南海道 和歌山、巴邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、阪出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養

西海道 郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎

北海道 小樽、函館、札幌、旭川

臺灣 臺北、臺南、

樺太 大泊、

朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、倚州、大邱、羅南、新義州、城津、開城、清州、大田、金泉、公州、水原、全州

清國 安東縣、大連、營口、奉天、旅順

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

商標 一味噌

京城南大門通二丁目 製造元 遠藤廣吉商店（電話九八二番）

二月 滊船出帆廣告

キ

三省丸 二月八日前七時 濟州島行

天草丸 二月九日前六時 海州行

成歡丸 二月八日前十時 屯串行

海利丸 二月 日前 時 海州行

三省丸 二月 日前 時 大湖芝行

合資會社 秋田商會船舶部

仁川本町四丁目 電話一三番

仁川本町一丁目 電話七五〇番

仁川本町海岸通 秋田商會船舶部荷捌部 電話四一九番

荷客取扱所

仁川本町四丁目 柴田回漕店 電話五三二番

山本回漕店